

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	ユネスコ技術援助専門家の派遣		事業開始年度	昭和48年度		作成責任者
担当部署	国際統括官付		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の養成を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「ユネスコ技術援助専門家派遣事業」として、若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。					
実施状況	平成21年度は、6名を派遣。派遣された職員は、ユネスコ本部(パリ)、地域事務所において、ユネスコの上級専門家の直接の指揮の下で当該専門家を補佐し、ユネスコ職員として指定された職務に従事。主な職務としては、セミナー、研修会、調査研究の企画・実施についての補助、開発途上国の関連事業に関する情報収集、プロジェクト案企画の補助を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	55	54	49	45	45
	執行額	55	54	49		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	55	54	49		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 我が国のユネスコ活動の発展に十分資するよう、政策的見地から派遣すべき部署を検討し、ユネスコ事務局と交渉している。 ユネスコからの財務状況報告書に基づき、支出先・使途・使用状況を把握している。 				
	見直しの余地	今後、より政策的に必要とされる部署への派遣機会を与えられるよう、本事業における派遣者の職務内容を精査する必要がある。				
予算監視の効率化	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコ事務局に若手の行政官等を派遣し、ユネスコに対し人的貢献を行うとともに、国際的な人材の養成を目的として行う長期継続事業である。</p> <p>2. 所見：ユネスコ事務局に派遣している行政官等の person 費の要素があることから、現行において、見直しの余地はなく、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
補記						

ユネスコ技術援助専門家の派遣

文部科学省
49百万円

【拠出金】

A. ユネスコ(国際連合教育科学
文化機関)

ユネスコ技術援助専門家派遣
事業:49百万円

若手の行政官や研究者等の専門家をアソシエート・エキスパートとしてユネスコ事務局に派遣し、ユネスコ職員の指揮下で教育、科学、文化に関する職務に従事させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	ユネスコ技術援助専門家派遣事業	49			
計		49	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0